

平成28年度 協働事業振返り調査票

協働事業の名称 地域における建物の防火安全性の向上事業

所属名(団体名) 千葉市中央地区商店街協議会

1 事業の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働相手の選定(市) 協働相手を公募しましたか。公募しない場合は、選定理由を明確にしましたか。		
1-2 協働相手の選定(団体等) この事業の協働相手として自分の団体はふさわしい団体でしたか。	5	地域力の向上という観点では相応しいと思いますが、今後の拡大に期待したい。
2 目的の共有 事業の目的・目標を共有しましたか。	5	合致していると思います。
3 目的・目標の達成 事業の目的・目標は達成できましたか。	4	活動に未参加団体があるほか、活動回数が十分ではない。
4 事業実施中の意見や情報の交換 適宜、意見や情報の交換を行い、必要に応じ協議事項の見直しを行うなど、柔軟に対応できましたか。	5	危険個所の確認や注意喚起などの面で、少しずつではあるが意識は高まってきていると思います。
総合コメント この活動は防犯との兼ね合いで取り組むことが重要であると考えていますので、一部の商店街では実施していますが、今後は、警察との協力体制も考慮しながら取り組んで行きたいと思っています。		

2 協働の振返り

振返り項目	振返り結果 1～5を記入	コメント(理由、感想、気づいたことなど)
1-1 協働の形態の選択(市) 選択した協働の形態(委託、共催、事業協力、支援・補助)は適切でしたか。		
1-2 協働の形態の選択(団体等) 自らの特性を活かせる連携方法でしたか。	4	特別会員である銀行をはじめとした団体が、養成講座に参加してくれるなど、多少ですが地域の広がりが見えています。
2 協働の意義の明確化 協働で実施する必要性やねらいを明確にしましたか。	5	事務局としては、消防局のご協力により明確化していると思っておりますが、まだ不十分であると思っております。
3 主体性・自主性の尊重 お互いを理解し、尊重して事業を進めましたか。	5	養成講座で、地域の実績として違反件数の減少などが説明されたことにより、行動(運営)の成果がはかりあいになっていると思います。
4 役割と責任の自覚 役割分担や責任の所在が明確でしたか。	4	まだ不十分であると思っております。
5 協働の成果 協働ならではの成果はありましたか。また、副次的な効果はありましたか。 副次的効果：会員が増えた、会員や職員の育成につながった、新たな事業展開や課題解決方法が見つかった等	5	啓発グッズの配布によって、各商店街の従業員に身近に感じてもらったり、中央公園のイベント時に多くの参加者に広く啓発できたことは、効果・成果であると考えています。
総合コメント		

この振返りは、協働事業を行った双方が、協働事業への理解を深め、良好なパートナーシップを構築することにより、お互いに成長し、また、よりよい協働事業の発展につなげるために実施するものです。得点の高低や事業の優劣をつけるものではありませんので、率直な意見を記入してください。※振返り結果は 1(評価が低い) → 5(評価が高い)の基準で記入してください。